

2012年4月26日

各位

オリックス不動産株式会社



すみだ水族館
SUMIDA AQUARIUM

『すみだ水族館』in 東京スカイツリータウン®
2012年5月22日(火)グランドオープン
～施設詳細および商品ラインナップ、体験プログラムについて～

オリックス不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:山谷 佳之、以下「オリックス不動産」)は、2012年5月22日(火)にグランドオープンする『すみだ水族館』の施設詳細および商品ラインナップや体験プログラムの内容を決定しましたのでお知らせします。

『すみだ水族館』は、2012年5月22日(火)にオープンする、東京スカイツリータウン®内の大型集客施設としてオープンします。



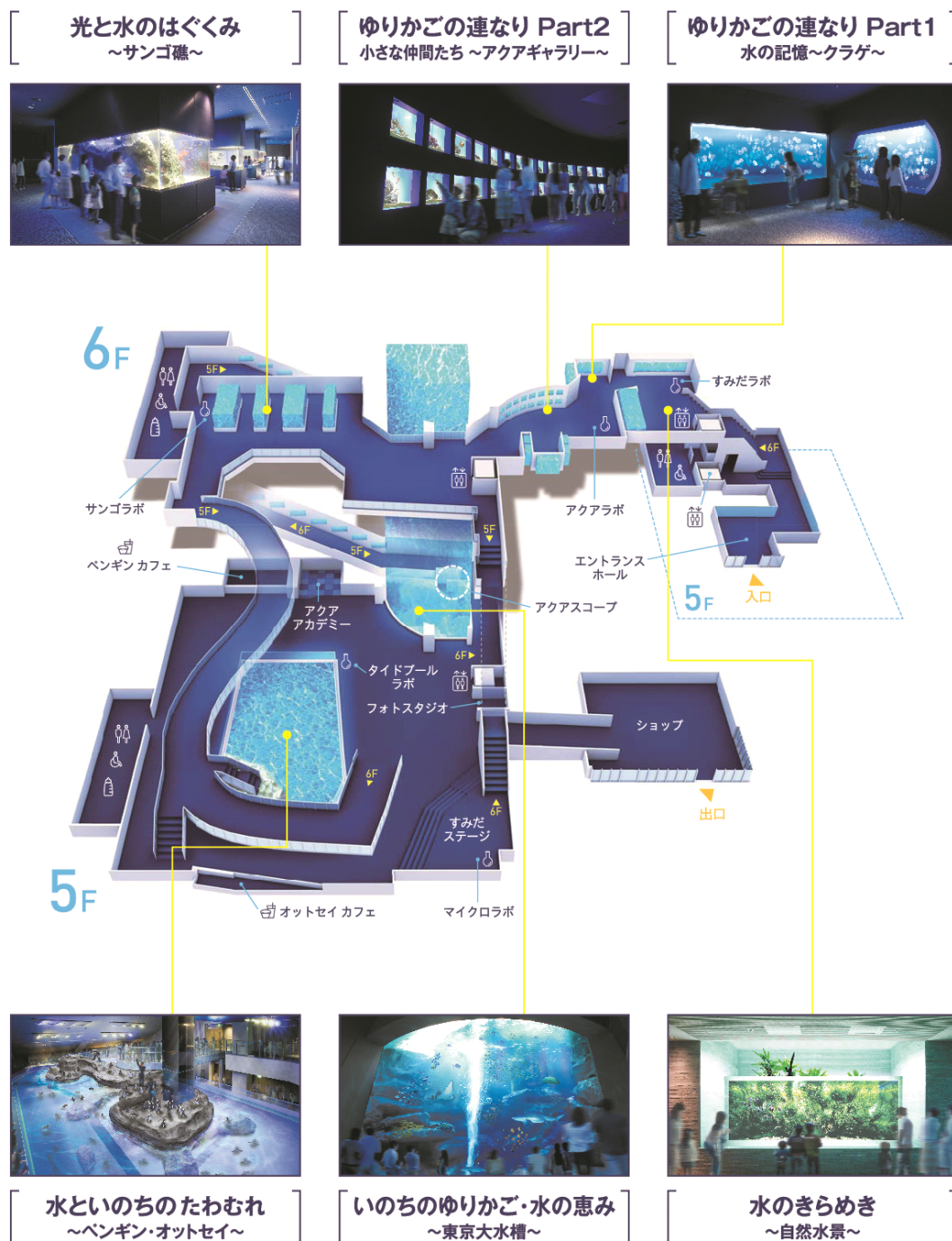
“いのちのゆりかご～水 そのはぐくみ～”をコンセプトに、施設全体を「いのち」をはぐくむ「大きなゆりかご」として、都市にいなながら「いきもののいのち」とそれをはぐくむ「水」を体感していただける水族館を目指し、8つの展示(「水のきらめき～自然水景～」「ゆりかごの連なり Part1 水の記憶 ～クラゲ～」「ゆりかごの連なり Part2 小さな仲間たち ～アクアギャラリー～」「光と水のはぐくみ ～サンゴ礁～」「つながるいのち ～東京湾・東京諸島～」「いのちのゆりかご・水の恵み ～東京大水槽～」「水といのちのたわむれ ～ペンギン～」「水といのちのたわむれ ～オットセイ～」)で構成されています。

東京スカイツリー®を訪れる観光客や周辺地域にお住まいの家族連れ、カップルのご来館や、修学旅行、幼児・児童たちの遠足、校外学習などのご利用に向け、展示はもちろん、ワークショップなどの体験プログラムも提供してまいります。また、都市型水族館という特性から都内に勤務する方々のアフターファイブでもご利用いただけます。

以上

【報道関係からのお問い合わせ先】 すみだ水族館 広報担当:村木・小平 TEL. 03-5619-1284	【お客さまからのお問い合わせ先】 すみだ水族館 TEL. 03-5619-1821(10時から17時)
【すみだ水族館 公式ホームページ】 http://www.sumida-aquarium.com	

(1) 館内マップ



(2) 展示概要について

“いのちのゆりかご～水 そのはぐくみ～”をコンセプトとした館内は、8つのゾーン(「水のきらめき ～自然水景～」「ゆりかごの連なり Part1 水の記憶 ～クラゲ～」「ゆりかごの連なり Part2 小さな仲間たち ～アクアギャラリー～」「光と水のはぐくみ ～サンゴ礁～」「つながるいのち ～東京湾・東京諸島～」「いのちのゆりかご・水の恵み ～東京大水槽～」「水といのちのたわむれ ～ペンギン～」「水といのちのたわむれ ～オットセイ～」)と、お客さまと飼育スタッフとのコミュニケーションなどの場である「ラボ」で構成されており、施設全体を「いのち」をはぐくむ「大きなゆりかご」として、都市にしながら「いきもののいのち」とそれをはぐくむ「水」を体感していただけます。

館内の水量合計:約 700t

館内の展示生物合計:約 400 種約 10,000 点

1. ラボ

『すみだ水族館』は、お客さまがいきものとの距離をより身近に感じられるように「ラボ」を館内の5ヶ所に設置しています。ラボでは、飼育スタッフが働く姿や飼育設備などがご覧いただけるほか、飼育スタッフと様々なコミュニケーションが可能です。いきものの理解が深められ、水族館の楽しみ方が広がります。

飼育スタッフがラボでいきものと触れ合っている様子をご覧いただくと、水がいきものにとっての「ゆりかご」であることを実感いただけます。



写真：アクアラボ

① すみだラボ

「いきもの」と「自然環境」の素晴らしさをお客さまにお伝えするラボです。「すみだラボ」では水生生物に限らず、隅田川周辺や小笠原などを中心とした各地のいきものの展示や、調査・研究を行ってまいります。
＜展示生物＞オガサワラヨシノボリ、ボラ、マハゼなど

② アクアラボ

「アクアラボ」では、飼育設備や飼育スタッフがいきものの世話をする姿など、水族館のバックヤードをご覧いただけます。「アクアラボ」では、クラゲが成体になるまでの過程を段階的にご覧いただけるほか、クラゲやイソギンチャクの生態解説も行われます。不思議ないきものの生態を深く理解することができます。
＜展示生物＞ミズクラゲ、イソギンチャクの仲間など

③ サンゴラボ

「サンゴラボ」では、沖縄のサンゴの苗を育てて、やがて沖縄の海へ返す活動を計画しています。『すみだ水族館』は、オリックス不動産が行っている沖縄のサンゴ礁再生プロジェクト「SANGO ORIX」と連携しています。

＜展示生物＞シコロサンゴなど

④ タイドプールラボ

潮溜まり(タイドプール)をイメージした水槽があるラボです。「タイドプールラボ」では、いきものがある水槽を囲んでお客さまと飼育スタッフの間に様々なコミュニケーションが生まれます。季節やテーマによって変わる様々ないきものについて理解を深めていただけます。

＜展示生物＞ヒラツメガニ、アカマンジュウガニ、ヒライソガニなど

⑤ マイクロラボ

顕微鏡を使って魚の鱗や歯などを観察できるラボ。飼育スタッフが厳選したいきものの小さなパーツを拡大して見ると、ミクロの世界に新たな発見があります。

2. 水のきらめき ～自然水景～

水を取り巻く自然の景色を株式会社アクアデザインアmanoの協力により水槽に凝縮しました。よく見ると、水草の表面からは光合成によって酸素が小さな気泡となって発生する瞬間が観察されます。水槽内のいきもの(魚やエビ・微生物)はこの酸素で呼吸し、水草はいきものが放出する二酸化炭素で再び光合成を行って酸素を放出します。この水槽の中では、いきものが相互に関係し合いながらいのちの循環を繰り返しています。小さな気泡のきらめき、この発見から「小さな大自然」を体感いただけます。



<水量> 約18t <展示生物>約70種約1,000点

(魚類)カージナル・テトラ、レッドファントム・ルブラ、ブラックファントム・テトラ、ロージー・テトラ、エンペラー・テトラ、ラスボラ・ヘテロモルフ、ラスボラ・エスぺイ、レッドライントーパー・バルブ、ミクロゲオファグス・ラミレジー、ブルッカーなど

(水草)グロッソスティグマ、ボルビティス・ヒュデロツティー、ヘアーグラス、エキノドルス・アングスティフォリア、セイロン・ロータラ、ミクロソラム・ナローリーフ、アヌビアス・ナナ、クリプトコリネ・ペッチィ、バリスネリア・ナナ、ルドウィジア・グランデュローサなど

○株式会社アクアデザインアmano: 自然から学んだ水草レイアウト「ネイチャーアクアリウム」を提唱。景観としての美しさと自然さながらの環境を両立させた水槽づくりを行っている。

3. ゆりかごの連なり Part1 水の記憶 ～クラゲ～

大小様々な水槽の中に多数のクラゲが漂う空間は、お客さまを「日常」から「非日常」の世界へ誘います。数億年前から姿を変えていないと言われるクラゲの姿は美しく幻想的で、懐かしい記憶を呼び覚まします。

<水量> 約10t

<展示生物>ミズクラゲ、タコクラゲ、カラージェリー、サカサクラゲなど約10種約1,500点



4. ゆりかごの連なり Part2 小さな仲間たち ～アクアギャラリー～

小さいいきものたちに焦点をあてた、まるで美術館のように水槽が並ぶ「ゆりかごの連なり」。いきものたちの多様な姿やかたち、ユニークな生態などを、それぞれに最適な「ゆりかご」でご覧いただけます。至近距離で見るといのちが創り出す美しさに時が経つのを忘れてしまう、美しい空間を演出します。



＜水量＞ 約 5t

＜展示生物＞ミズダコ、オウムガイ、スミレナガハナダイ、ニッポンウミシダ、シロホシアカモエビ、コンゴウフグ、ハリセンボン、ロングノーズバットフィッシュ、サクラダイ、オニダルマオコゼなど約 80 種約 800 点

5. 光と水のはぐくみ ～サンゴ礁～

美しいサンゴ礁と、そこに集まるカラフルないきものたちが創り出す様々なシーンを、4 連の水槽でご覧いただけます。4 つのスクエア型の水槽は 360 度全方向から鑑賞できるようになっており、見る面や角度によって、いきものたちの全く異なる表情を楽しむことができます。それぞれの水槽の間を歩くと、サンゴ礁の美しさに圧倒され、まるで自分がサンゴ礁のなかを水中散歩しているかのような錯覚を起こします。また、『すみだ水族館』では沖縄のサンゴの苗を大きくはぐくみ、沖縄の海へ返す試みを計画しています。



＜水量＞ 約 35t

＜展示生物＞オオナガレハナサンゴ、ウミキノコ、スリバチサンゴ、ディスクコーラル、ナガレハナサンゴ、ハナガササンゴ、センジュイソギンチャク、カクレクマノミ、チンアナゴ、テングカワハギ、ナンヨウハギ、キイロハギ、キイロサンゴハゼ、ベニゴンベ、サラサゴンベ、ヤッコエイ、ハタテハゼ、ベニシオマネキ、ニシキエビ、サンゴヤドカリの仲間など約 100 種約 2,000 点

6. つながるいのち ～東京湾・東京諸島～

5 階と 6 階を結ぶ約 50m のスロープでは、身近ないのちのゆりかごである東京の海、「東京湾」と「伊豆諸島から小笠原諸島までの島々の総称・東京諸島」に棲むいきものたちの姿をご覧いただけます。意外に知らない、東京の海。小笠原諸島の固有種など個性豊かないきものたちの姿を見ながらスロープを下りていくと、次のゾーン【いのちのゆりかご・水の恵み ～東京大水槽～】が現れます。また、ここでは小笠原で生まれた小さなウミガメを『すみだ水族館』で飼育・育成し、小笠原の海に返す計画をしています。



画像提供:小笠原ダイビングセンター

＜水量＞ 約 2t

＜展示生物＞アカエイ、マヒトデ、ハオコゼ、アミメハギ、クサフグ、メジナ、スズメダイ、カサゴ、メバル、イサキ、ユウゼン、アオウミガメなど約 50 種約 500 点

7. いのちのゆりかご・水の恵み ～東京大水槽～

彩り鮮やかな魚が群れを成して泳ぐ大水槽では、雄大な海が多様ないきものをはぐくんでいることを実感していただけます。「東京諸島」の海をテーマとして、小笠原村の協力により再現した、濃く、深く、どこまでも青く透き通った水槽の色を見ると、水の恵みといきもののいのちの確かな関係が感じられます。『すみだ水族館』にいながらにして、約 1,000km 離れた世界自然遺産である小笠原諸島の海の世界をご覧ください。



＜水量＞ 約 300t ＜水深＞ 約 6m

＜アクリル厚さ＞ 約 280mm

＜展示生物＞ミナミスズミ、クマザサハナムロ、ウメイロモドキ、ロクセンズメダイ、ユメウメイロ、ヨスジフエダイ、ハタタテダイ、ノコギリダイ、ヒブダイ、アカハタ、ユカタハタ、アカヒメジ、オジサン、ネズミフグ、ハリセンボン、ハナミノカサゴ、ヤマブキベラ、ホウセキキントキ、フタスジタマガシラ、ユウゼン、ニセゴイシウツボ、アオウミガメ、メガネモチノウオ、ウシバナトビエイなど
約 80 種約 4,000 点

『すみだ水族館』の魅力を支える小笠原村との協力関係

『すみだ水族館』は、小笠原村と提携しており、【いのちのゆりかご・水の恵み ～東京大水槽～】の監修など、より魅力的な水槽作りのために同村にご協力をお願いしています。また、今後は館内外で行うイベントや企画にご協力いただくなど、多岐に渡る協力関係を築いていく予定です。

8. 水といのちのたわむれ ～ペンギン・オットセイ～

水量約 350トンの国内最大級※の屋内開放のプール型水槽。大きなこの水槽で育まれるペンギン、オットセイの生態を間近で見ること、お子さまをはじめとするお客さまに「いきもののいのち」を感じ、学んでいただけるゾーンです。

二層吹き抜けの空間に加え、お客さまといきものの距離を極力近づけた展示空間では、環境にも配慮した LED 照明を使用し、1 日の時間の変化を演出します。昼は自然光に近い照明で元気な姿を、夜は薄暗い照明で寝ている姿のペンギン、オットセイをご覧ください。



＜水量＞約 350t

＜展示生物＞マゼランペンギン約 50 羽、ミナミアメリカオットセイ約 5 頭

(※)オリックス不動産調べ。

※展示生物は変更になることがあります。使用しているCG画像はすべてイメージです。

(3) 体験プログラム

『すみだ水族館』では、～「鑑賞」する水族館から「体験」する水族館へ～をテーマに、お客さま自らが行動(体験)して理解を深めていただけるよう、水族館ならではのワークショップなど館内外での「体験プログラム」を開催します。

・ワークショップ

『すみだ水族館』では、館内の「アクアアカデミー」を中心に水族館ならではのワークショップを開催します。いきものとの距離を縮めるきっかけとなるようなプログラムを実施します。

○ アクアアカデミー

「アクアアカデミー」は各種大型施設のインテリアデザインなどを手掛ける株式会社アクタスが空間・インテリアをデザインしています。



■ 開催予定のワークショップ

① タイトル： ふうせん水族館 … 東京工科大学 × すみだ水族館

内容： 東京工科大学と共同開発したワークショッププログラム「ふうせん水族館」。同大学デザイン学部
の学生がデザインした尾びれ・背びれなどのパーツは、魚の種類によって異なります。

泳ぐ速度とひれの関係などを楽しく学べるプログラムです。

実 施 期 間	2012年5月22日(火)～5月27日(日)
定 員	各日100名様 ※定員になり次第終了
場 所	すみだ水族館 5階 アクアアカデミー
対 象	5歳以上 ※小学生未満は保護者同伴
料 金	無料
申 込 方 法	当日受付 ※事前予約不可



※体験プログラムの内容やスケジュールは予告なく変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

② タイトル： ユウゼンの絵手紙

内容： 日本の固有種であるユウゼン。小笠原を代表する魚、ユウゼンのちぎり絵を貼り付けて絵手紙を作るプログラムです。作成した絵手紙は、ご家族やお友達に送ってもお楽しみいただけます。

実 施 期 間	2012年5月28日(月)～終了日未定
定 員	各日100名様 ※定員になり次第終了
場 所	すみだ水族館 5階 アクアアカデミー
対 象	5歳以上 ※小学生未満は保護者同伴
料 金	150円(切手代込)
申 込 方 法	当日受付 ※事前予約不可



※体験プログラムの内容やスケジュールは予告なく変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

○ プラス × すみだ水族館

『すみだ水族館』はオフィス家具や文具のメーカーのプラス株式会社とコラボレーションを行い魅力的なワークショップの開発を行ってまいります。また、『すみだ水族館』のワークショップで使用するステーションナリーの一部を同社に協賛いただいています。



(4) 商業エリア

『すみだ水族館』には、館内に魅力的な「カフェ」や「ショップ」などがあります。カフェは「ペンギンカフェ」と「オットセイカフェ」の2店舗あり、展示をイメージさせる商品などを提供します。また、「ショップ」では国内外で活躍するアーティストとコラボレーションしたオリジナル商品なども提供し、「フォトスタジオ」では水族館でディズニーキャラクターとの撮影ができるなど、楽しめるコンテンツがいっぱいです。

① カフェ

・DEEP SEA WATER バニラもなか(300 円※税込)

海洋深層水を利用した冷菓で特許を取得している有限会社松崎冷菓工業とのコラボレーション商品。ペンギンの形をしたモナカの中には海底 350m より採取した海洋深層水を使用した塩バニラアイスが入っています。



・小笠原の塩バニラソフトクリーム(350 円※税込)

小笠原の名産品の一つである「塩」。透明度の高い小笠原の海水から造られ、ミネラルも豊富な小笠原の塩を原料にした塩バニラ味のソフトクリームです。濃厚な味わいをご堪能ください。



・小笠原のパッションフルーツソフトクリーム(350 円※税込)

小笠原産のパッションフルーツを使用したオリジナルソフトクリームです。口の中いっぱいに広がるトロピカルな味は感動の一品です。



・アクアカクテル(600 円※税込)

『すみだ水族館』は夜 21 時まで営業しており、お仕事帰りの方々にもお楽しみいただけるよう、アルコールもご提供します*。
「水のきらめき～自然水景～」をモチーフに開発されたアクアカクテルは、ラムをベースとしミントを水草と見立てた、きれいなカクテルです。
※この商品は水族館の営業時間中、常時販売しています。



UCC × すみだ水族館：メッセージカップ(全 30 種)

UCC 上島珈琲株式会社とコラボレーションして開発したメッセージカップ。カフェで販売するホットドリンクは、偉人達の自然に関する名言を載せたスリーブと共にご提供します。
偉人達の名言を読んで、「ほっと一息」入れる時間をお楽しみください。



② ショップ

『すみだ水族館』でしか購入できないオリジナル商品を豊富に取り揃えました。テーマごとにコーナーをいくつもご用意していますので、自分が気に入ったいきものの商品など、自分の好みにぴったりあった商品がきっと見つかるはずです。

・SUMIDA アクアリウムアートワークス

その作品を誰もが知っている著名アーティストから今が旬の若手アーティストまで、様々なアーティストが参加した『すみだ水族館』のアートコラボレーション商品を販売します。デザインテーマは『すみだ水族館』のペンギンたち。アーティストごとの個性溢れるペンギンをモチーフとしたステーションナリーなど、豊富なラインナップに目を奪われます。今後、小笠原の海洋生物などをテーマとした商品も発表予定です。



・水族館和スイーツ(200円※税込)

クレイアーティスト・おちゃっぴ氏がデザインした海のいきものたち全6種類のキャラクターを忠実に再現した大福と練り切り。食べるのがもったいない程かわいい和菓子ですが、大福はもちもちとした食感、果汁入りの練り切りはフルーティーな味わいが楽しめます。すみだ水族館イチオシ商品です。



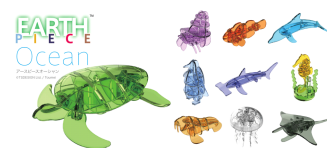
・ロゴグッズコーナー

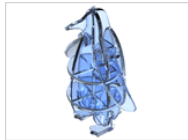
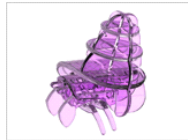
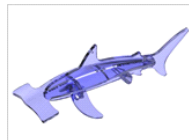
『すみだ水族館』のロゴマークを使用したグッズ。シンプルでおしゃれなロゴマークを取り入れた、ステーションナリーや雑貨など、幅広い商品ラインナップです。



・組立式カプセルトイ～EARTH PIECE～「オーシャン」(全10種:各500円※税込)

プロダクトデザインで有名なTSDesignが制作した、地球のいきものを美しいクリアカラーで表現した組立式トイ、EARTH PIECEシリーズ。その第一弾、海のいきもの「オーシャン」を『すみだ水族館』で先行販売します。組み立てたトイは可動式で、ひれなどを動かすと、また違った表情が楽しめます。



ペンギン	ヤドカリ	カクレマノミ	イルカ	カメ
				
セイウチ	エイ	クラゲ	シュモクザメ	タツノオトシゴ
				

・すみだ水族館フィギュアコレクション(全8種:各300円※税込)

『すみだ水族館』の開業に合わせて、世界的に有名なフィギュア制作集団「海洋堂」が製作した、『すみだ水族館』のオリジナルの限定フィギュアです。世界自然遺産小笠原諸島をはじめとした東京の海をテーマにいきものをセレクト。小笠原諸島に縁の深い魚や水生生物たちを、小笠原村監修の下、リアルなフィギュアコレクションとしてご提供します。



 ザトウクジラ 大きな胸ヒレとアゴにあるコブが特徴。世界の海に分布します。冬から春にかけて小笠原近海で出産・子育てをすることが知られており、多くの観光客がホエールウォッチングに訪れます。	 カタマイマイ(ブラウン、グリーン) 陸生の貝であるカタマイマイの仲間、小笠原諸島に20種ほどが分布します。異なる島にあっても生息環境によって殻の形が似るなど、興味深い進化を遂げています。名前は硬い殻に由来しています。
 ユウゼン 名前は、友禅染を思わせる体色に由来しており、伊豆諸島や小笠原諸島で多くみられる日本固有種です。時折「ユウゼン玉」と呼ばれる大きな群れを形成し、ダイバーにはあこがれの魚です。	 オビシメ(オス、メス) オスは紺色の体色で体側には帯を締めたような黄色い模様が入り、メスは黄色みを帯びた体色で体側には白い模様が入ります。全く見た目が異なることから、以前は別種と考えられていた、日本の固有種です。
 アカイセエビ 以前はカノコイセエビと同種とされていましたが、本種には第1触覚(前方に伸びる短い方のヒゲ)に白い帯がないなどの相違点から、2005年に別種となりました。大きい個体では体重が約4kgにもなり、迫力満点です。	 アオウミガメ 世界の暖かい海に分布し、小笠原諸島には毎年4月～9月ごろにかけて産卵に訪れます。名前の青は、緑がかかった肉(脂肪)の色に由来しています。主にアマモや海草を食べる草食性のウミガメです。

③フォトスタジオ

『すみだ水族館』は、スタジオアリスと提携し、館内にフォトスタジオを設置します。『京都水族館』(京都府京都市下京区観喜寺町35-1(梅小路公園内)、運営＝オリックス不動産)に続き、全国で2店目のスタジオアリスアミューズメントスタジオがオープン。画像合成機能を持つ「クロマキーシステム」を使い、スタジオアリスだからできる、水族館で初めてのディズニーキャラクター(「ミッキーマウス」、「ニモ」など)撮影が体験できます。その他、かわいいペンギンや色鮮やかな魚たちと一緒に記念写真が撮れ、写真の台紙フレームにはいきものたちのシールを貼って自分だけのデコレーションフレームを作成して楽しみいただけます。

<場所>5階フォトスタジオ

<価格>1ポーズ台紙(シール付)/1,500円(税込)

2ポーズ台紙(シール付)/2,000円(税込)

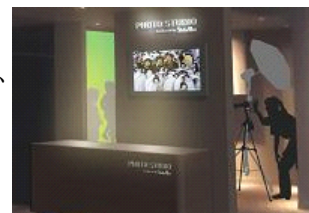
※写真サイズは2Lサイズ(127×178mm)

<ディズニーキャラクター商品>

- ・海/ファインディングニモ
- ・Kiss/ファインディングニモ
- ・危機一髪/ファインディングニモ
- ・ペンギン/ミッキーと仲間たち

<その他の商品>

- ・珊瑚の海
- ・ペンギン散歩



©Disney
「海/ファインディングニモ」



©Disney
「危機一髪/ファインディングニモ」



「珊瑚の海」

(5) ユニフォーム

『すみだ水族館』では、スタッフのユニフォームに関して株式会社セブンユニフォームと提携しています。主に飲食業界を中心にユニフォームを提供してきた同社は創業 60 周年を迎え、従前の飲食業界に留まらず新たに幅広い業界にユニフォームを提供していくにあたり、『すみだ水族館』とコラボレーションするにいたりました。当館では、同社の HAKUÏ (※) シリーズからデザイナー・小野塚秋良氏コーディネートしたユニフォームを採用しています。



※ HAKUÏ＝アパレルブランドZUCCaの創始者・小野塚秋良氏がデザインしたシリーズ。今年で21 作目。

小野塚氏のコメント 「『すみだ水族館』は、空中に浮かぶ海。海岸線のブルーと白を基本色としたカジュアルウェア的なデザインです。来館されるお客さまが海の生物の神秘的な美しさを、より一層お楽しみいただくために親しみやすいコーディネートにしました。」

(6) すみだ水族館サポーター(法人会員)

『すみだ水族館』は、館内での生態展示などとともに、館内外にて行われる各種ワークショップなどを通じて地域の自然や、環境、そして人といきものつながりの大切さを学ぶことができる活動を行ってまいります。これらの活動を永く育んでいくために、当館の活動にご賛同いただける法人の方々を対象とした「すみだ水族館サポーター(法人会員)」を募集しております。

- 名称 すみだ水族館サポーター(法人会員)
 - 会員資格 当館の活動趣旨に賛同していただける全ての法人
 - 申込金 1口 300,000円
 - 期間 3年間
 - 会員特典
 - ①館内壁面に社名・団体名が明記されたプレートを3年間掲示いたします。
 - ②当館ホームページ内に社名・団体名を明記いたします。
貴社ホームページへの誘導(ウェブリンク設定)も行います。
 - ③年一回当館の「年次活動報告書」を送付いたします。「年次活動報告書」にも社名記載いたします。
 - ④無料ご招待券を90枚(30枚／年)贈呈いたします。
 - ⑤ご入場割引券を450枚(150枚／年)贈呈いたします。
- ※④⑤につきましては、券1枚につき1名様かぎりご利用いただけます。
- 手続方法 当館ホームページに添付の申込書を出力、ご記入のうえ、郵送にてお申し込みください。
なお、定員に達した場合はご加入をお断りする場合もございます。あらかじめご了承ください。
- お問合せ 〒131-0045
東京都墨田区押上一丁目1番2号 東京スカイツリータウン・ソラマチ 5F・6F
すみだ水族館サポーター担当 TEL:03-5619-1284

【全体概要】

施設名称	すみだ水族館			
英名	SUMIDA AQUARIUM			
運営会社	オリックス不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:山谷 佳之)			
開業日	2012年5月22日(火)			
場所	東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ 5F・6F			
営業時間	9:00～21:00 ※入場受付は閉館の1時間前まで ※季節により変更あり ※開業日(2012年5月22日)の営業時間は変更の可能性あり			
休館日	なし(年中無休) ※施設点検等で臨時休業あり			
公式ホームページ	http://www.sumida-aquarium.com			
料金 (消費税込み)	【個人のお客さま】			
		大人	高校生	中・小学生 幼児 (3歳以上)
	一般料金	2,000円	1,500円	1,000円 600円
	※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳の提示が必要 ※障がい者手帳をご提示の方とご同伴の方(1名)は、一般料金の半額			
	年間パスポート	4,000円	3,000円	2,000円 1,200円
	※中学生、高校生の方は、チケット売り場で生徒手帳の提示が必要 ※障がい者手帳をご提示の方は、年会費が半額。			
	【団体のお客さま】			
	一般団体(20名様以上)	1,800円	1,350円	900円 540円
	学校団体 ※引率の教員の方は無料(一部上限あり)	保護者・ 高校生 以上 1,200円	中学生 720円	小学生 600円 園児 (0歳から 有料) 360円
	※学校の行事としてのご入場に際しての適用			
アクセス	・東武スカイツリーライン「とうきょうスカイツリー」駅すぐ ・東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線・京成押上線・都営地下鉄浅草線「押上(スカイツリー前)」駅すぐ ※当館には専用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。			
支配人	田海 雅彦(たうみ まさひこ)			
初年度来館者数(見込)	約175万人			
備考	・全館禁煙 ・給湯シンクを備えた授乳室(計2ヶ所) ・おむつ替えコーナー(計8台) ・盲導犬などの介助犬の同伴可能			

【建物概要】

契約面積	7,859.81㎡(バックヤード含む)
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

【事業概要】

事業主体	オリックス不動産株式会社
設計	大成建設株式会社
施工	大成建設・東武谷内田建設共同企業体

Press Release



【 会社概要 】

運営会社	オリックス不動産株式会社	
本社所在地	東京都港区赤坂二丁目3番5号 赤坂スターゲートプラザ	
設立	1999年3月11日	
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之(やまや よしゆき)	
決算期	3月(年1回)	
事業内容	住宅開発事業部門	マンション・戸建て住宅等の開発、分譲
	不動産投資事業部門	オフィス・住宅・商業施設・物流施設等の投資企画商品の開発、購入
		オフィス・住宅・商業施設・物流施設等のリーシング、バリューアップ、売却およびアセットマネジメント業務
		海外不動産への投資
		不動産事業再生および不動産M&A
		ファンド向け賃貸不動産の開発、購入
	運営事業部門	高齢者住宅の開発、運営
		ホテル・旅館の事業再生
		ホテル・ゴルフ場・研修所・水族館の運営、管理

運營業務受託会社	オリックス水族館株式会社	
本社所在地	東京都港区浜松町二丁目4番1号 世界貿易センタービル	
設立	2011年4月1日	
代表者	代表取締役社長 森川 悦明(もりかわ えつあき)	
決算期	3月(年1回)	
事業内容	水族館の企画、運営、管理	
	物販、飲食店の企画、運営、管理	
	体験学習等教育関連プログラムの企画、運営	

Press Release



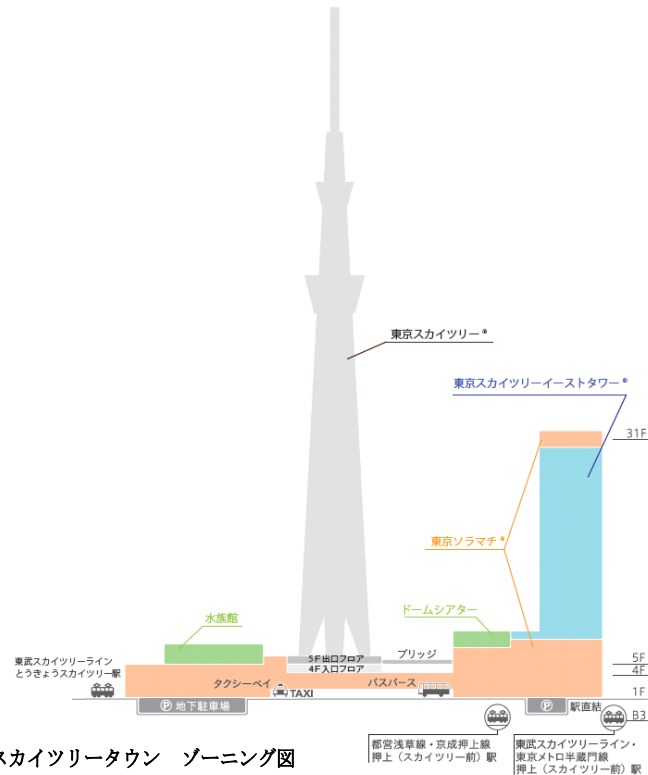
【参考】「東京スカイツリータウン®」施設概要

敷地面積：約 36,900㎡

建物延床面積：約230,000㎡

建物規模：地上31階、地下3階

主要用途：電波塔、展示場(展望台)、商業施設、水族館、ドームシアター、オフィス、
地域冷暖房施設、駐車場



△東京スカイツリータウン ソーニング図

©TOKYO-SKYTREETOWN



△東京スカイツリータウン 全体鳥瞰図

©TOKYO-SKYTREETOWN